

こぶたのブウタ

神沢利子 原画展

たふも
たいすきだけど
たふられるのは
たいきらい！

たいふのブウタは
くしいな
たいきらい！



2026

9/30(水)～10/12(月・祝)

三鷹市美術ギャラリー 第1展示室

開催時間：10時～18時（最終日は16時まで）

入場料：無料 ※10月5日(月)は休館

問い合わせ：三鷹市立三鷹図書館 電話 0422-43-9151

主催：三鷹市教育委員会(三鷹市立図書館)

協力：神沢利子事務所／株式会社 理論社 企画協力：神沢利子研究会・三鷹

みどころ
1

『こぶたのブウタ』の
原画を一挙に展示！

神沢さん直筆の
カラー口絵や挿絵、
約50点を展示します

みどころ
2

室内は撮影OK！

ブウタと一緒に
写真を撮れるフォト
スポットもあります

みどころ
3

特大タペストリー

『こぶたのブウタ』の
特大タペストリーが
登場します



『くまの子ウーフ』『ふらいばんじいさん』『銀のほのおの国』などで知られる三鷹市在住の児童文学作家・神沢利子さんが、唯一、イラストも文章も手掛けた児童書『こぶたのブウタ』（初版1971年）が、この夏、新版として刊行されたことを記念し、原画展を開催します。本展では、『こぶたのブウタ』の原画、約50点を展示するほか、フォトスポットやブウタの特大大ペストリーも登場。『こぶたのブウタ』を通して神沢さんの作品の魅力をさまざまな形で楽しめる展覧会となっています。



神沢利子／作・絵
『こぶたのブウタ（新版）』理論社

みどころ
4

神沢さんの本棚
児童書や絵本もたくさん！
お子さんが本を読めるコーナーもあります。

みどころ
5

メッセージカードを書いて、シールをもらおう！
『こぶたのブウタ』のキャラクターシール（絵柄ランダム）が出てくる
カプセルトイが回せます（1人1回まで。なくなり次第、終了）。

みどころ
6

マスキングテープなど、
『こぶたのブウタ』グッズを
販売予定！



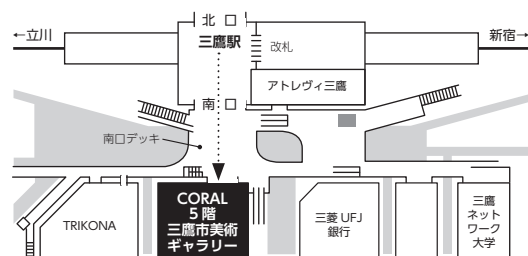
初版出版の頃の神沢さん

神沢利子（かんざわとしこ）

1924年生まれ。北海道、樺太での幼少期を描いた自伝的小説として『いないいないばあ』『流れのほとり』がある。幼年童話『ちびっこカムのぼうけん』『くまの子ウーフ』『ふらいばんじいさん』、長編ファンタジー『銀のほのおの国』『タランの白鳥』をはじめ、絵本や詩集など300冊を超える著作がある。『神沢利子コレクション』（全5巻）にまとめられた一連の業績で路傍の石文学賞、巖谷小波文芸賞を受賞。80歳で絵本『鹿よ おれの兄弟よ』、2023年には白寿を記念して初めての句集『冬銀河』を刊行。

神沢利子さんと三鷹市

神沢さんは1969年に三鷹市に転居。2006年～2008年に三鷹市と市民実行委員会による協働事業「神沢利子展プロジェクト」として200人以上の市民ボランティアが展覧会などを企画運営。その後も神沢作品を通じた市民活動・交流が続く。2017年、神沢さんが三鷹市に直筆の原稿などの資料多数を寄贈。2020年に三鷹市が「みたか・子どもと絵本プロジェクト名誉顧問」（愛称「わたしたちのひいおばあちゃん」）を委嘱（写真）。2024年には、同年1月に100歳の誕生日を迎えることを記念し、「神沢利子さんおめでとう100歳展 北と星といのちと～同じうたをうたい続けて～」を三鷹市芸術文化センターにて開催。



三鷹市美術ギャラリー

JR三鷹駅（南口）前 CORAL（コラル）5階
（東京都三鷹市下連雀3-35-1）

● 三鷹駅南口デッキを直進し、CORAL 2階入口からお入りください。CORAL内エレベーターで5階にお越しください。
※専用駐車場はありません。駐車はCORAL地下2階有料駐車場をご利用ください。

三鷹市立図書館各館で関連企画を開催予定。展示の詳細など、図書館HPに掲載します。

